

令和7年8月28日

お知らせ

	後楽園事務所	岡山県 郷土文化財団
担当	川井・真柴	渡邊・近藤
電話	086-272-1148	

年に一度、藩主の気分で月を愛でる 岡山後楽園「名月観賞会」を開催します

岡山後楽園では、園内から中秋の名月をお楽しみいただく恒例行事「名月観賞会」を、次のとおり開催しますので、お知らせします。

なお、本件は岡山中央署記者クラブにも本日発表します。

記

1 概要

毎年旧暦8月15日の夜に、開園時間を21時30分まで延長し、中秋の名月を楽しんでいただくほか、茶会や箏曲演奏などの催しを行います。

園内からは、市街地でありながら操山の稜線から昇る名月を建物に遮られることなく観賞いただけます。

2 開催日時

令和7年10月6日（月）17時～21時（閉園は21時30分）

- ・雨天決行ですが、荒天など当日の天候によっては中止することがあります。
- ・中止の場合は、決まり次第後楽園公式ホームページにてお知らせします。
- ・当日の月の出は、17時05分です。

3 催し

（1）芝生の開放

普段は立入禁止となっている延養亭前から鶴鳴館前にかけての芝生を開放します。ゆったりと芝生に座って月見をお楽しみいただけます。

（2）箏曲演奏…岡山三曲研究会

琴や尺八などの演奏が行われ、園内でお聞きいただけます。

- ・会場：延養亭

（3）茶会開催…茶道裏千家淡交会、武者小路千家岡山官休会

- ・会場：鶴鳴館、寒翠細響軒前芝生
- ・茶席券：1,300円（茶席1席、後楽園入園券付き）

販売場所：後楽園正門入園券売場及び市内の茶販売店（辻利園・常照園）

※ 茶会の参加には茶席券が必要です。

（茶席券は前売り販売のみとなり、当日販売はありません。）

※ 雨天の場合、野点は会場を建物内に移して行います。

裏面に続く

4 名月観賞会限定「お月見弁当」の販売

- ・価 格：1, 680円（税込）
- ・販売方法：予約及び当日販売
- ・販売場所：後楽園外園 残夢軒（Tel086-272-2371） ※当日販売のみ
後楽園内 福田茶屋（Tel086-272-2670） ※予約販売のみ
〃 さざなみ茶屋（Tel086-272-4147）
〃 岡山県観光土産品協会（Tel086-272-4115）
- ・予約締切：令和7年10月3日（金）正午
- ・当日販売：当日16時30分～ なくなり次第終了

<参 考>

『後楽園と中秋の名月』

江戸時代、歴代藩主の多くが後楽園で中秋の名月と十三夜（旧暦9月13日）のお月見を楽しんでいたようです。

1689年（元禄2年）の9月13日に、築庭を命じた池田綱政が現在の延養亭（藩主の居間として使われていました）の原型にあたる「御茶屋（おちゃや）」にお月見のため来たという記録が残っています。これが、後楽園での最初のお月見のようです。

また、1705年（宝永2年）に描かれた絵図「月出之図（つきでのず）」が残っています。この絵図は、「延養亭」から操山方面を見て、中秋の名月や十三夜の月がどの位置から昇ってくるのかを記録したものです。

後楽園では、現在も延養亭からの借景保存が行われており、市街地でありながら、操山から昇る月の出が、建物に遮られることなく見られる数少ない場所です。

1956年（昭和31年）から毎年、旧暦8月15日にあたる日に夜間開園し、中秋の名月を楽しんでいただいています。